



## テーマ2 今後も住み続けたいまちづくり

### 瑞穂市の強み

- ・18歳未満の医療費無料化
- ・学校の空調化完了や電子黒板の整備
- ・交通の利便性がよい（穂積駅から名古屋駅まで25分）
- ・子育て世帯の若者が多い

### 瑞穂市の弱み

- ・穂積駅周辺の整備（駅が小さい、穂積駅周辺の道が狭い）
- ・総合病院・高校がない
- ・地域交流が不足している
- ・水路が汚れている

## 参加者からのご意見・ ご感想も抜粋して紹介します。

初めての参加、戸惑いが多々ありましたが、機会があればまた参加を考えます  
〈60代 男性〉

せっかくの意見をぜひ今後のまちづくりに活かしてほしいと思っています  
〈60代 男性〉

今回は高齢者がほとんどであったので話が大きくなりすぎた感がある若い世代の将来にかかった問題であるので若い世代の意見も集約してほしい  
〈70代 男性〉

検討した内容について、議会としてどう取り組み、活用されたか知りたい  
〈70代 男性〉

多様な見解を知ることができたことがよかった  
解決策は今後の課題である  
〈60代 男性〉

参加人数があまりにも少ない参加をもっと宣伝してほしい方式はいいと思う  
〈60代 男性〉

## 第10回意見交換会を終えて

今回で、2回目となる市民とのワークショップ方式での意見交換会に備え、私たち議員はファシリテーション研修を受け、また同じテーマで議員内でワークショップを行うなどの事前準備を行って迎えた今回の意見交換会でした。

朝日大学との意見交換会を含めると、ワークショップ方式での意見交換会は4回目であったので、私たちが慣れて、和んだ意見交換会にすることができたのではないかと思います。

意見交換会では、市民の方の意見をたくさん聞くことができましたし、笑顔で帰って行かれる姿を見ることができ良かったと思っています。

今後は、参加者を増やすために、テーマを絞り、若者や女性もたくさん参加できるよう改善していきたいと考えています。

いただいた皆様のご意見は、議員として市政に反映できるようがんばっていきます。

平成31年2月3日研修・意見交換部会長 北倉 利治

## ～ワークショップ方式による～ 第10回 意見交換会

- 〈テーマ〉 ①災害にどう備えますか  
②今後も住み続けたいまちづくり

平成31年2月3日(日)

午前10時～11時30分 巢南公民館(多目的ホール)

午後 2時～ 3時30分 市民センター(大ホール)

2会場(巢南公民館・市民センター)で市民26人が参加

瑞穂市議会は、2月3日(日)に「～ワークショップ方式による～第10回意見交換会」を開催しました。今回の市民の方々と意見交換会では、多くの市民の皆様にお越しいただき感謝申し上げます。

当市議会においては、事前に「ファシリテーション研修」を受けて、当日に臨みました。

より多くの市民の皆様の声聞くために、各会場では、参加された市民が4～5名ずつのグループに分かれ、2つのテーマについて、議員1～2名が加わり、自由な意見交換を行いました。

今回の意見交換会は、市民との意見交換の場を多様に設けて、議会及び議員の政策能力を強化するとともに、政策提案の拡大を図ることを目的としています。

当日頂いた意見の中から、一部のご意見を抜粋して紹介します。

## テーマ1 災害にどう備えますか

### 瑞穂市の防災の課題

- ・水害対策（川の氾濫）
- ・弱者支援（高齢者や障がい者の方）
- ・防災・水害避難所訓練の徹底
- ・空き家対策
- ・災害時の市の備蓄や備品が不明
- ・停電対策
- ・情報伝達手段
- ・自宅の耐震化工事
- ・避難所エアコン
- ・自治会のつながり（自治会のコミュニケーション）

